

時の視点

古紙市況の現状と今後



直納部部长

赤染 清康

資源業界は需給による市況の変化の波が大きいのですが、現在は世界経済の動向により大きく左右されます。

すなわち、7月21日からの国内古紙値下げは段ボール業界の公取問題による市況の悪化もありますが、それ以前にEUの経済危機に端を発した中国景気の急減速による中国製紙メーカーの操業低下、又、欧米経済の悪化による世界的古紙余剰が原因になっています。

このように、世界経済の動向により我々古紙業界も左右される訳ですが、過去にも行政回収が普及した時の古紙の大余剰、この時は製紙メーカー買入れ価格が新聞・段ボール・雑誌で7円・5円・3円と過去最低価格になり、雑誌は問屋ヤード仕入価格が逆有償、又は荷止めとなりました。

またリーマン・ショックの時には輸出価格が最高値27円台から1週間で、7円～5円台に落ち、価格が付かなくなりました。しかし、この時は3ヶ月程で徐々に回復へ向かいました。

今迄、いく度となく高騰・反落を繰り返して来た業界ですが、その度事に力強く立ち直って参りました。そして比較的好調時に新規参入、新ヤードラッシュを繰り返して来ました。それは暴落もしたけれど、比較的将来を見通すことが出来、光

が見えたからだと思われます。

今、日本のバブル崩壊後の失われた十年のようにEU経済回復も十年掛かると云う学識経験者もいます。古紙輸出価格が160ドルの攻防になるとも言われています。段ボール・雑誌がひと桁になるかもしれません。国内メーカーも、もう一段下げるかも知れません。

このような市況で生き残るには、正に適正利潤を確保する為に、過当競争は死語にして、それぞれの組合員が適正な仕入価格に勤しむ他ないと思われます。

古紙市況の現状と今後



直納部副部长

上田 晴健

今年に入り古紙全般の価格の下落に歯止めがかりません。7月後半から8月頭にかけて段ボール古紙が2円の値下げとなり、新聞古紙1円、雑誌古紙2円の値下げとなりました。それに伴い切付類1円の値下げ、家庭紙古紙に関しては3月に引き続きさらに2円の値下げ、都合4円の値下げとなりました。その他産業古紙についても全体的に1～2円の値下げとなりました。

国内大手製紙メーカーの操業も芳しくなく大幅な発注カットの状態が続き我々古紙を扱うものにとって価格下落とともにダブルパンチの逆境となっております。洋紙メーカーは、輸入紙の影響とコスト高に加え、需要減がさらに採算の悪化を招く状態となっております。洋紙メーカーに比べ採算の良かった板紙メーカーにおいても需要減に

より操業を落とし採算の悪化につながっております。家庭紙メーカーにおいても、供給過多、在庫過多により価格の値上げ交渉も不調に終わりむしろ価格は値下げ方向に向いています。国内の古紙販売状況はかなり厳しい状況になっております。早い回復を願うところですが期待を持てる状況ではなさそうです。

海外マーケットに目を向けると主なマーケットである中国市況も芳しくありません。輸出先は主に板紙メーカーとなりますがヨーロッパ、アメリカなど主要輸出先の景気鈍化により板紙製品の需要が伸びず製品価格は下落しております。そういった中で古紙価格は3～4円/kgの内外価格差（輸出価格のほうが安い）がついており古紙問屋の経営を圧迫している状態です。

古紙業界の経営環境が悪化している中、国内外の製紙メーカーの採算の好転が急に望めない状況では、なんとか安定的な仕入れ価格になるよう発生元のご協力を仰ぐ事態が続きます。

静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

平成24年6月21日（木）午後2時00分～

於）富士工業技術支援センター

出席者： 静岡県紙業協会家庭紙部会 22名

（内、家庭紙メーカー 17名）

静岡県製紙原料商業組合 10名

東京都製紙原料協同組合 11名

三団体代表挨拶

イデシギョー（株）井出会長

〔静岡県紙業協会家庭紙部会〕

大手家庭紙メーカーは製品の価格修正の発表をするようである。6月下旬から7月にかけて予定していると聞いている。中小の家庭紙メーカーにつ

いては難航しているようである。家庭紙は輸入品が増えている。大手小売店が直接、中国に行き買い付けをしているようである。前はトイレットペーパー等の製品の品質が良くなかったが、最近では良くなってきており、これから増えてくるのではないと思われる。製品の価格修正を期待するのは大変難しいようである。

近藤理事長 [東京都製紙原料協同組合]

依然として世界景気の低迷や円高傾向が続いておりまして、日本の基幹産業の海外移転や大手製紙業界の再編も進んでおります。家庭紙メーカーに於かれましても輸入紙の増加、製品在庫の増加等大変厳しい状況が続いていると伺っております。何か反転機運の高まるような政治、社会情勢に変わって欲しいものです。現在、我々古紙業界は多くの問題を抱えておりますが、主な課題を2点ほどご報告させていただきます。

第1点は、ここ何年も解決できなかった抜き取り問題です。近年、一般市民や自治体から我々正常な業者まで抜き取り業者と同じに見られ、業界全体が大きく信用を落としてしまいました。先日開催された全原連の総会でも抜き取りの根絶宣言をし、今後、正規の回収業者には「持ち去り根絶」のステッカーを車に貼り、自治体と業界、警察が連携をして取り締まりを始めることになっております。

第2点は現在、各家庭から資源回収をしておりますが、品種が新聞、雑誌、段ボールの3種類となっております。この中の雑誌は全国で月、約30万トン回収されておりますが、本当の雑誌は3分の1で、後の3分の2は雑紙となっております。この雑紙が大変な問題を起こしておりまして、感熱発泡紙や昇華性転写紙問題の元となっております。今後、この雑紙と雑誌は別品種として回収する方向で現在、古紙センターで議論が進められて

おります。

他にも多くの問題がありますが、「市況の安定」という事を第一に今後も業界活動を進めていきたいと思っております。本日も有意義な情報交換が出来ますよう宜しくお願い申し上げます。

佐野理事長 [静岡県製紙原料商業組合]

静岡では配付資料の通り裾物3品を中心にデータを取っている。集計の中で古紙在庫がどうなっているのか論議の核にしていきたいと思っております。16社統計では3月、4月、5月の在庫が減少してきている。静岡地区は輸出をほとんどしていないので、今後も市況の安定を心がけていくように考えております。

古紙全般の市況について

赤染直納部長 [東京都製紙原料協同組合]

古紙全般の市況は、国内外とも低調で発生は6月に入り特に少ない。国内の洋紙、板紙も低調。輸出も低調である。6月のメーカーからの注文量はカット量が増えており、7月も増えるのではないかとと思われる。古紙の発生が少ないが、メーカーからの注文量も少ない。輸出は、3月、4月、5月、6月と輸出価格が落ちてきている。中国もEU問題が解決しないと、日本の古紙輸出に影響が出てくると思われる。古紙問屋は悪い状況にある。

家庭紙原料について

上田色上委員長 [東京都製紙原料協同組合]

産業古紙は数年間右肩下がりが続いている。発生も依然として回復しない。メーカーの古紙在庫も問題ない水準を保っていると考えられる。輸出で海外に出ていたミックス古紙等が、マーケットの状況が良くない為、国内に入ってきている。家庭紙メーカーの古紙原料にも入ってきている。震災直後、古紙問屋は古紙原料を国内へ安定的に供給

した。現在も産業古紙は出来る限り供給している。産業古紙は輸出には向いていないので国内へ流れやすい。古紙問屋が今後、どんな提案ができるのか家庭紙メーカーにお聞きしたい。

古紙の流れについて

鈴木委員 [東京都製紙原料協同組合]

今回配付した資料を見ると3月が古紙在庫のピークとなっている。毎年3月から5月は古紙の発生期である。6月から8月は非発生期である。欧州ショックの輸出価格下落で中国は2月の旧正月時期に古紙を多く購入した。3月の新聞報道の反動で輸出価格が下がってきた。日本の古紙の発生期に輸出ができず古紙価格が下がってしまった。輸出向けに動いていたアウトサイダーが国内へ入ってきた。産業古紙の発生は少ないのに家庭紙メーカーの在庫が多いのは、そのためだと考えられる。しかし、アウトサイダーの扱い古紙は、品質が悪く受け皿も少ないので時間が経てば消えていくと思われる。我々、古紙問屋は家庭紙メーカーへ安定供給していけるダム機能をしていけたらと考えている。

オフィス系古紙について

高橋委員 [東京都製紙原料協同組合]

紙ゴミの量が減る事により古紙の発生が減る。一昨年と昨年のゴミの量を比べると2万トン減少している。行政回収で比較しても同じく前年より減少している。

オフィス系古紙ではミックスが減少しているのが現状である。シュレッダーが多くなってきているが、PCの使用で全体的には減少している。今、一部のところでは印刷を中国で行なっている所が増えてきた。紙も中国へ輸出して、それを使い印刷後、日本へ戻ってくる方法をとっている。

静岡の状況について

[静岡県製紙原料商業組合]

産業古紙の発生は4月、5月の発生期が終わり少なくなってきた。機密系やオフィス系も6月に入り発生が悪い。来月は岳排を控えているが、その後は何とか安定供給を継続していきたい。

家庭紙メーカーの現状

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

消費が悪く製品在庫を多くかかえている。
3月、5月、6月に生産調整があった。工場が止まると古紙原料の置き場所がなくなってしまう。古紙の発生も悪いが消費も悪い。安定需給を考え計画的に古紙原料を購入しているが、在庫は一杯である。

質疑応答

M：メーカー **G：原料問屋**

Q-M：集荷先で古紙の分別をしてもらう事が出来るのか？

A-G：ほとんどの集荷先では、古紙を置くスペースが狭く分別は大変難しい。

Q-G：電気料金の値上げについてはどのようになるのか？

A-M：電気料金は売上の7%～8%がかかる。燃料費も8%～9%かかるので影響が大きい。

Q-G：産業古紙の発生が少ないがメーカーの古紙在庫は余っていると聞いている。在庫は従来の産業古紙が多いのか？オフィス系が多いのか？

A-M：古紙在庫は型崩れしない産業古紙が多い。オフィス系は積みにくいので先に使用するようになっている。

第26回 古紙関係協議会

平成24年7月24日（火）午後4時00分～
於）製本工組会議室

出席者： 東京都製本工業組合 15名
 東京都製紙原料協同組合 12名

大野理事長 挨拶（東京都製本工業組合）

現在の古紙業界について日本から輸出の多い中国の経済が減速しつつあると報道で聞いております。本日は古紙業界から価格面を含め、予断を許さない状況を懇談会の中でお聞きしたいと思っております。

近藤理事長 挨拶（東京都製紙原料協同組合）

本日は大野新理事長体制になり初めての会合ということで私達も大変緊張しておりますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。ヨーロッパ発の世界不況が収まるどころか、むしろ悪化しつつありまして、現在私たちの業界にも大変大きな影響を及ぼしております。市況につきましては後ほど担当役員から報告をさせていただきますが、新聞等で報道されているように今年に入って、2月そして今月7月と2度に渡り家庭紙原料の値下げがありました。更に、8月から段ボールや新聞、雑誌といった主要3品、その他の品種も殆ど全てに渡り値下げが発表されております。私ども組合では「上物古紙の価格について」という文書をお得意様にお渡し説明するよう組合員に発送致しました。説明の足りない部分もあるかもしれませんが、本日の資料の中に入れて頂きました。印刷、製本業界におかれましても大変厳しい中であると思いますが、何卒ご理解を頂き、組合員の生計が成り立つよう対応をよろしくお願い申し上げます。



古紙業界の動向

1. 古紙全般に関する現況

赤染直納部長（東京都製紙原料協同組合）

古紙全般の市況については、古紙原料価格が8月1日までに全ての品目が下落。今回の一番の原因はヨーロッパ発の不況である。今年の3月頃から中国の市況が悪くなってきて、4月、5月、6月も輸出価格の下げが止まらず底がはっきりしない状態である。中国の段ボール使用量が減少しており、中国への輸出価格は欧州、アメリカが大幅に下がり日本もつられて下がってしまった。4月、5月と中国への輸出は史上最高の量だが、高い古紙は買わないのが現状である。

リーマンショックの時は、直後から3ヶ月ほどで回復した。当時は古紙の備蓄をしたり、非常に輸出が好調だったので国内の市場も徐々に戻ってきた。中国国内の古紙は品質が悪く、品質的には日本は競争力を持っている。現在の輸出市況が回復すれば、この状況も戻るのだが。

2. 産業古紙の現況

上田直納副部長（東京都製紙原料協同組合）

家庭紙製品の使用量には大きな変動はない。古紙は現在、発生が減っているが原料使用も減少している。大手の家庭紙メーカーが競い合いしばらくの間、厳しい状態が続くと思われる。製本場所から発生するケント、切付は広い意味で雑誌に入る。

段ボールが下がると関連して雑誌が下がる。雑誌が下がったので家庭紙が下がってしまった。雑誌に連動するのが板紙、台紙関係である。今回のように全銘柄が下がる事はなかなかない。

3. 古紙回収にかかわる現況

宮崎集荷部長（東京都製紙原料協同組合）

集荷は今、一番大事な時期にきている。このままでは集荷業はやっていけない。得意先に、いかにこの状況を話して理解してもらうか。伝えるためにどうしたらいいか。どうして、このような状況になってしまったかを家庭紙メーカーとの会合で話された内容を元に得意先に説明しなくてはならない。

4. 製本業界の動向（東京都製本工業組合）

雑誌・書籍

製本業界は電子書籍、将来の教科書の電子化等により仕事量が激減するのではないかと心配している。1997年から毎年数%減少し、最近では3%の減少となっている。2016年には電子書籍市場が大きく広がると予想されている。最近では、大ロットのコミック関係の仕事が減少している。

教科書関係

小中学校の教科書が4年ごとに改定され新刊となるため、その時期は量的に多く出てくる。しかし少子化により量が減少し小さなパイの取りあいになっている。4年後くらいには教科書の電子化が現れるのではないかと聞いている。電子化になると、今までの合本（上巻・下巻）がなくなってしまう現象が起きる。

他に大学受験向きのセンター試験の受講参考書は仕事として多く出てきている。

カード関係

トレーディングカードは、去年は震災後に悪化したのが夏場に良くなってきた。今年は、3月くらい

までは増加していたが、4月くらいから減少してきており7月には失速してしまった。トレーディングカード関係は右肩上がり伸びてきたがカードゲームも電子化になってきており減少ぎみである。

商印関係

商印関係のチラシは、昨年の震災後減少し、現在はかなり厳しい状況である。3月～4月は期末と年度始めて活況があったが、5月の連休後には減少してきた。現在は、商刷関係の仕事が少ない。

4. 質疑応答

S－製本工組 T－東京協組

S－Q：現在の古紙原料は10年くらい前の逆有償時期より酷い状態なのか？

T－A：16年前の家庭紙原料の相場より現在の相場の方が高い。当時は輸出を始めたばかりであった。現在は中国への輸出価格により国内の原料価格が影響を受ける。円高の問題もあり輸出価格が低くなる傾向にある。今後は、中国以外のベトナム、タイ、他の国への輸出も強化していきたい。

S－Q：合紙の選び方について提案してほしい

T－A：色の濃い物（赤、黒、等）は古紙として扱えないので避けて欲しい。

東京返本加工協同組合

第47回 通常総会開催

東京返本加工協同組合 事務局記

去る、2012年8月21日(火)東京ドームホテル5階『初音』の間に於いて東京返本加工協同組合第47回(平成23年度)通常総会が16時より開催されました。

ご来賓として、東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤 勝様、出版共同流通株式会社 代表取締役副社長 中山 剛様、税理士法人 西川会計 西川 豪康様にご出席を賜り、藤川理事の司会により総会が開会されました。

審議に先立ち、工藤理事長より出版物の減少化傾向の問題、円高による輸出の問題、古紙価格の落込みの問題等、ますます厳しい環境の中において、過去の経験にも学びつつ、組合員並びに役員一同、それぞれの力を合わせてこの困難に立ち向かい戦っていかねばならない、皆様のより一層のご協力をお願いしたいとの挨拶がなされました。



続いて司会者より、組合総数 23名、出席 19名、委任 2名であり、今総会が成立した旨の報告がなされました。議長選出では、「司会者一任」と会場からの声により工藤理事長が議長に選任され審議に入りました。今総会では、第1号議案～第9号議案（①事業報告、②決算報告、③剰余金処分案、④事業計画案、⑤収支予算案、⑥借入金残高及び債務保証最高限度額、⑦加工手数料、経費の賦課、加入手数料、⑧理事及び監事改選、⑨役員報酬、⑩退任役員への記念品贈呈）の案件が提案されましたが、各議案ともスムーズに全会一致にて原案どおりに可決されました。

事業報告では、雑誌プレス加工量 前年比 99.4%、組合直接扱い分、前年比 101.6%と、ほぼ前年と同様の扱い量となった事は、業界全体が

マイナス傾向にある中、取次会社の施策寄与による業量増加とプレス化率向上の成果であった事が報告されました。

第8号議案「理事及び監事改選」では指名推選の方法が取られ、選考委員3名の推選により理事7名、監事2名が、満場一致の承認を以って選出されました。議案承認後、別室にて第一回理事会が行われ、理事の互選により代表理事(理事長)に工藤 裕樹(株)工藤商店)、副理事長に齋藤 米蔵(株)齋藤商店)、専務理事に羽山 真(員外)が選任された旨、報告されました。

新役員を代表し、工藤理事長より就任のお礼と出版共同流通(株)様並びに取次各社様へのより一層の貢献を目指すと共にご協力を期する旨の言葉が述べられました。

全ての議事終了後、ご来賓を代表して出版共同流通株式会社 代表取締役副社長 中山 剛様より祝意と東京返本加工協同組合並びに新役員に対する期待、出版共同流通(株)が10年という節目を迎えて5社協業体制が整ったものの出版物取扱い量の更なる減少、出版業界の変化という側面も捉えながら、パートナーシップのより一層の強化を計り、日々研鑽を重ね、紙をベースにした商売の業績向上に繋げていきたいとのご挨拶を賜りました。

閉会の辞では、司会の藤川理事より、厳しい状況が続くなか、理事一同、事業計画の達成に取り組んで参りたい。組合員の皆様へのより一層のご指導ご協力をお願いしたいとのご挨拶がなされました。

総会に引き続き開催された懇親会は、会場を42階『シリウス』の間に移し日本出版販売株式会社 代表取締役副社長(出版共同流通株式会社 代表取締役社長) 平林 彰 様、東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤 勝 様をはじめ取次各社様、出版共同流通株式会社様、総勢 58名のご出席により渡邊理事の司会進行により懇親会が

開催されました。

開会に当たって、工藤理事長より開会挨拶がなされ、引き続きご来賓を代表して平林副社長様、近藤理事長様よりご祝辞を賜り、日本出版販売株式会社 物流担当取締役 高田 誠 様の乾杯の音頭で開宴となりました。宴中、今総会を以って退任された稲生専務理事、山中理事、脇監事並びに新任となった富澤理事、羽山専務理事、廣田監事、坂内監事の挨拶があり、皆様に紹介されました。



TOM 恒例のカラオケ大会では、自己紹介をかねて4人の方々に自慢の喉を披露していただきました。

立食形式の会場では、各テーブルでいくつもの輪ができ、楽しい情報交換の場となりましたが、宴たけなわの中、富澤理事の中締めの挨拶をもって19時30分にお開きとなりました。

お忙しい中、総会ならびに懇親会にご出席を賜りました皆々様、誠にありがとうございました。皆々様のご協力に感謝と御礼を申しあげます。

(東京返本加工協同組合 事務局記)

(新役員)

理事長 工藤 裕樹 (株)工藤商店
代表取締役社長

副理事長 齋藤 米蔵 (株)齋藤商店
代表取締役社長

専務理事 羽山 真 員外

理事 上田 雄健 三弘紙業(株)
代表取締役会長

理事 藤川 達郎 (株)藤川紙業
代表取締役社長

理事 渡邊 繁光 東日紙商(株)
取締役副社長

理事 富澤 進一 (株)富澤
代表取締役社長

監事 坂内 大介 (有)坂内商店
専務取締役

監事 廣田 圭吾 (株)廣田
常務取締役

清風会研修会及び納涼会

広報部副部長 高橋 宏明

平成24年7月3日「東天紅」に於いて清風会恒例の研修会が行われました。今回講師として、事業部長坂田さんのご友人で、林野庁長官皆川芳嗣様に研修会講演の講師をお願いしました。

講演は「これからの日本林業」で始まりました。現在、森林は世界の土地面積の約3割を占めているそうです。また、1700年代ごろは推定で約5割の森林があり、「産業革命」後、森林は減少していったそうです。

日本では、奈良時代から江戸、明治まで山は荒廃していたそうです。今よりも昔のほうが逆に森林が少ないとは驚きました。

昭和25年から植樹祭が行われるようになり森林の蓄積は、人工林を中心に増加し、その量は8千万㎡で、スカイツリー約16棟分の高さになるそうです。日本の森林の約4割が人為的に造林等を行った人工林で、その内訳は、人工林1035haのうちスギが43%でヒノキが25%だそうです。また、日本の林業は諸外国に比べると傾

斜が比較的急で、路網密度も低いので労働生産性が悪いそうです。林業業界は需要の変化への対応に遅れた為、これから木材利用のさらなる拡大に向けて頑張っているそうです。

今回皆川様のお話を聞いて大変勉強になりました。有難うございます。



研修会後の納涼会は、今回で2回目の夫人同伴で6名のご夫妻がお見えになりました。また、美味しい中華料理をいただきながら楽しい時間を過ごしました。また、今回は「カラオケ」もあり大変に盛り上がりあつという間に時間となり、中締めとなりました。

直納部委員会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

日時：8月24日（金）

午後5時～直納部委員会

午後5時30分～納涼会

場所：上野・東天紅「海燕亭」 参加者：25名

8月24日（金）上野・東天紅「海燕亭」において直納部委員会と納涼会が開催されました。

午後5時30分から直納部委員会が始まり、各委員長から最近の古紙の市況説明がありました。その後は、今回の海外メーカー工場視察研修をアテンドされた（株）ジェーオーピーより海外市況と輸出についての説明がありました。

委員会終了後、納涼会になり楽しい歓談のひと時が過ぎていきました。



組合主催ゴルフコンペ開催

青年部 望月 孝

平成24年7月1日(日)に恒例の組合ゴルフコンペが行われました。場所は千葉県の横芝にあるカレドニアン・ゴルフクラブというゴルフ場でした。当日は製本工組・紙器組合のお客様7名を含む20人5組が集まり盛大に行われました。

とても綺麗なコースで、朝からやる気モード全開でした。しかし、とんでもなく難しいコースでキャディーさんが居なければどこに打って良いのか分からない状態でした。また、グリーンはポテトチップの様な形のグリーンで落とし場所によっては3~4パットを打ってしまうほどで皆さん苦戦していたようです。私自身も何とか置いて行かれないように必死でプレーした結果49・43の92で、なんとか真ん中の10位に入れました。(一緒に回ったメンバーのおかげです)

また、当日は天気あまり良くなく・・・いつ雨が降ってもおかしくない状態でしたが全てのラウンドが終了しカートが戻った後に、ザーッと本降りの雨が降ってきました。これも普段の皆様の行いが良い証拠です(笑)

※成績は次の通りです。

・優勝 飯田賢一(紙器組合) 44・52

GROSS 96 NET 72

・準優勝 近藤理事長 40・41

GROSS 81 NET 72,6

ベスグロ 近藤理事長 81

ブービー(株)新井商店 新井正樹



製本工組との親睦ゴルフコンペ

6月17日(日)千葉国際C.C.において製本懇親ゴルフ大会が開催されました。144名の大コンペで内50名が関連業界からの参加でした。

朝、残っていた雨もすっかり上がり、天気予報どおり29度という蒸し暑い一日となりました。当組合からは近藤理事長を始め赤松常任理事、山口理事、梨本理事の4名が参加しました。

終了後の表彰式ではまず、今年度役員改選で星野前理事長から引き継いだ大野新理事長の挨拶があり、次に50名の関連業界を代表して当組合の近藤理事長が挨拶をしました。お疲れ様でした。



印青連移動サロンと納涼会

青年部幹事長 梨本 竜範

7月28日(土)に青年部が参加している印刷産業青年連絡協議会の移動サロンと納涼会に参加しました。当組合からは(株)清水の清水青年部委員と(株)大久保の大久保青年部委員と梨本の3名で行って来ました。当日は昼に飯田橋駅に集合して、その周辺の印刷関係会社の工場4社を4班に分かれて見学するのですが、参加者が110名と多いので担当役員をしていた清水さんは最初から大変忙しく動いてくださりましてありがとうございます。Tシャツにプリントする機械やインクジェット、オンデマンドなどの最新機械や最新技術を説明してサンプルなど頂き、専門的な内容はわかりませんでしたけれど、印刷の初歩的なことを周りの方に教えてもらいながら普段あまり見られない印刷工場の中を見学し、夕方から上野で納涼会を60名参加で盛大に行い、各単組12団体の挨拶などがあり、若手が多いこともあり賑やかな宴でした。この日は「印刷の仕事」と「多数の人が参加する行事」の勉強をさせていただいた一日でした。



青年部納涼会

青年部幹事長 梨本 竜範

7月16日(木)に八重洲の個室居酒屋「番屋」にて、青年部納涼会を開催しました。

当日は最寄り駅が東京駅で集まりやすいこともあり、予定時刻の6時30分には参加者全員の31名が集まりました。坂内部長、坂田相談役の挨拶に続き、工藤監事の乾杯で青年部納涼会が始まり、途中でビンゴ大会をやりました。1等のポータブルマッサージ機を大久保 薫さんが獲得し、その他数名の方も暑さ対策の賞品を獲得しました。その後も仕事の話をはじめ、いろいろな話題で盛り上がり、最後に廣田副部長の締めで無事閉会となりました。

お忙しい中、今回はたくさんの参加者に出席して頂き、ビンゴの特別賞を寄付して頂いた、坂内部長、坂田相談役、工藤監事、お祝を下さった工藤名誉相談役、皆様この場を借りてお礼申し上げます。いろいろ反省点もございますが、次回の青年部会では反省を生かしつつ頑張りますので、これからも青年部を宜しくお願いします。

東京都印刷工業組合の総会に参加

理事長 近藤 勝

5月16日(水)東京プリンスホテルにて東京都印刷工業組合の総会が開催されました。今年は役員改選期にあたり正副理事長、支部長の交代がありました。



総会終了後の懇親会に参加し新役員と名刺交換しご挨拶を致して参りました。水上前理事長からバトンを渡された新理事長は江東区にある六三印刷(株)の島村会長(写真右から4番目)で、

53歳という若いリーダーの誕生です。厳しさの増す業界の舵取りに期待したいと思います。

組合主催 東北応援ツアー

台東支部 浜村 元大

6月24、25日の2日間にわたり宮城県の気仙沼市及び石巻市に、総勢33名で視察に行っていました。私は初めて東京都製紙原料協同組合に参加したということもあり非常に緊張しておりましたが、様々な方から気軽に話しかけて頂き緊張も解れ、視察に集中できると共に宴会も楽しむことができたと思います。

1日目

7時16分に東京駅を出発し、一ノ関には9時32分、気仙沼には11時の到着でした。

道中での話題は、専ら製紙業界及び古紙業界の動向、市況についてであり大変勉強になりました。

11時に気仙沼についてからは観光バスに乗り被災地を巡りました。



新聞やテレビで見て気仙沼の状態は知っていたつもりでしたが、やはり実際に被害状況を目の当たりにすると言葉が出ず、非常に心が痛かったです。最近では、あまり震災後のニュースを見なくなり、復興できているものだと多少想像していたのですが、震災はまだ終わっていないと改めて感じました。被災地を巡ったのち、昼食は気仙沼の「ホテル観洋」で、近藤理事長が挨拶の後、皆さ

んとおいしく頂きました。

気仙沼の見学を終え、5時には仙台に着き6時から「SEASON 花蔵」で宴会となりました。普段食べることができないようなご当地の海産物及び牛タンなど非常においしかったです。宴会では古紙業界とはどういうものか多くの方から教えていただきました。今後私自身が働く上で、役に立つものばかりでしっかり心に留め行動したいと思います。また、本当に少しだけですが業界のお酒の飲み方など知ることができました。

2日目

朝9時30分にホテルを出発して観光バスで日本製紙石巻工場の視察に行きました。石巻工場付近は沿岸ということもあって甚大な被害を受けており、死者3110名、行方不明者2770名という被害状況でした。震災後火事になった門脇小学校を見て小学生達がどれほど不安であっただろうか考えました。また、保護者や教職員の方たちの気持ちも凶り知れないものであったことと思います。学校の時計も震災が起こった時間で止まっており、地震の恐ろしさを物語っていました。

10時30分には石巻工場につき、日本製紙の方々から震災からどのようにして復興したか説明して頂きました。震災当日日本製紙石巻工場には、1306名の社員が働いていて地震発生から約28分で避難を終え全員無事であったという話を聞いて、日ごろからの防災意識及び社員教育の高さを示していると思いました。震災後、工場内はというと瓦礫が散乱しており、歩くこともできなかったそうです。そのような環境の中、震災から約1年の猶予を経て、現在では石巻工場の抄紙機は9割が稼働できる状態になっていました。その背景にはやはり、日本製紙の社員及び支援した人々の努力があったと思います。

石巻工場の復興の話聞いたのち、実際にN6という抄紙機を見学しました。

N6 マシンは抄紙から塗工、カレンダー、ワインダー工程まで一体化した世界最大級の A3 コート紙・微塗工紙用オンマシンコーターとして、操業要員の少数化と、極めて高い生産性を実現したマシンであり、直径 1500mm、幅 2500mm の大型巻取及び A3 サイズラベル・世界標準バーコードラベル対応により、海外市場向け販売のインフラを整備していました。

私自身抄紙機を見るのは初めてで、とても勉強になりました。



工場見学を終え、日本製紙の方々と交えて、飛翔閣で会食となりました。会食では日本製紙の方々と質疑応答がありました。その中で一番印象に残っていることは石巻工場の再稼働についてのお話でした。実際、石巻工場で働いている日本製紙の方々も閉鎖になるのではないかと考えていたそうです。しかし、日本製紙芳賀社長が石巻工場を復興することは石巻市全体の復興になると宣言され、復興が決まり石巻工場は現在の姿を取り戻しました。この決断が石巻工場及び石巻市を救ったと感じました。

今回東北応援ツアーに参加し様々な経験ができた本当に良かったです。東京都製紙原料協同組合の皆様及び日本製紙石巻工場の皆様ありがとうございました。

故 皆川昇前理事長を偲ぶ会を開催

広報部副部長 脇 克美

去る7月22日(日)11時30分より上野・精養軒に於いて、東京協組の主催によりしめやかに「故 皆川昇前理事長を偲ぶ会」が執り行われました。



当日は127名の方々のご参列をいただき、祭壇の遺影への献花から始められました。

赤染理事の司会で開式の辞が述べられ、つづいて近藤理事長が実行委員長としてご挨拶をなさいました。各団体の代表として全国製紙原料商工組合連合会 理事長 栗原正雄様 関東製紙原料直納商工組合 理事長 大久保信隆様 (社)東京都リサイクル事業協会 会長 上田雄健様の御三方がそれぞれ弔辞を述べられました。個人的にも故人と大変親交の深いお付き合いのあった方々の弔辞は、故人の業績については勿論、そのお人柄をも彷彿とさせる大変心あたたまるお話でした。



司会者による弔電奉読の後、(公財)古紙再生促進センター 専務理事 木村重則様により献杯が行われました。

約1時間程の会食の後、遺族である故人の奥様、ご長男、皆川商事社長 皆川三彦様よりご挨拶がありました。清水副理事長が謝辞を述べられ、松井副理事長の閉式の辞で散会となりました。ここにあらためて故 皆川昇様のご冥福を深くお祈りいたします。

最後になりましたが、当日いろいろお手伝いいただきました理事の皆様お疲れ様でした。

支 部 便 り

第2回支部長訪問「江墨支部訪問」

中央支部長 小森 修

今年度より各支部会に他の支部長が訪問します。目的は支部間のコミュニケーションを深め支部の活性化に役立つ目的です。

今回は、江墨支部に小森中央支部長が近藤理事長と夏目専務理事と共に訪問しました。

以下は訪問した支部長がアンケート形式で答えた感想です。

訪問日：平成24年6月20日(水)

会 場：寿司「竹むら」

参加人数：14名

- ① 雰囲気：アットホーム
- ② 会場はどんな感じ：良かった
- ③ 理事会の報告：あった
- ④ 協議事項は：なかった
- ⑤ 懇親会での話題：古紙市況全般

前回の支部旅行の裏話

- ⑥ 参考になった事：墨田区のスカイツリー、江東区のゲートブリッジのよもやま話
- ⑦ 自分の支部で実行したい事：参加者の増員
- ⑧ 同行者の感想：支部会として結束力があり充実している。忘年会とは違い支部員同士での話題が市況や仕事関係の話が多かった。
- ⑨ 今回訪問に参加して：良かった
- ⑩ この企画を続けた方がいいですか？：どちらとも言えない。
- ⑪ 今回の訪問で感じた事：参加者が若手からベテランまでバランスの良い年齢構成だった。

台東支部 納涼会を開催

台東支部 坂田 雄司

8月10日(金)午後6時30分より浅草ビューホテル15階にて納涼会を開催しました。今回の開催した会場は先日、リニューアルされた会場で乾杯の音頭とともにカーテンが開きスカイツリーが展望出来る会場になっています。

高山支部長より製紙メーカー及び古紙業者の事故が多いので充分注意する様にとのご注意がありました。



暑い中、20名入れる会場に9名の参加で、少人数でしたがおかげで、ゆったりとした時間を過ごせました。

残暑もまた厳しいとの事、支部員一同無事にこの夏を乗り切れるようお祈り申し上げ楽しい時間を過ごせました事を報告させていただきます。

文京支部 納涼会を開催

文京支部納涼会幹事 清水 弘允

8月8日(水)に文京支部の納涼会を上野東天紅・海燕亭にて開催致しました。

最近の支部例会は出席率が低く支部員数は20社ですが、半数も出席する事が少なくなっています。しかし節目の納涼会と言う事も暑い中18名の参加を得て賑やかな支部会となりました。

懐石料理だったので美味しい料理が少しずつ卓に並べられ、先付けから始まり、前菜、御椀、造り、焼物、揚物、煮物、食事、水菓子と出ましたので、お酒がすすみ会話も盛り上がり、楽しい会となりました。



常連の参加者に加えて吉田商店の吉田社長、(有)高橋商店の高橋社長、(株)小川商店の小川社長が元気な姿を見せてくれました。また志田紙業の志田さん親子、三弘紙業(株)と(株)ヨシカワの両社からは、事務の方々にも参加して頂きました。城北支部(株)宏文社の乗附社長にも参加して頂きました。

久しぶりに出席した皆さんにはしっかりと一言ずつ近況報告もして頂きました。日頃は社長が出席している支部会がどんなものか理解して貰うのにも役立ったと思います。

江墨支部 納涼会を開催

江墨支部 木内 茂樹

江墨支部の暑気払いが7月20日(金)錦糸町「寿司竹むら」にて行われました。

江墨支部は毎年、忘年会、暑気払いには青年部も参加し大変賑やかな会となっております。当然、コンパニオンの方々も加わり、皆、日頃の疲れを忘れ、それぞれの近況、情報交換、又、ここには書けない話などで時間も、あっと言う間に過ぎてしまいます。

午後6時30分、司会の第一声で開会し松井支部長より古紙の動向、今後の見通しなどのお話があり皆、真剣に耳を傾けておりました。引続きコンパニオンの挨拶、乾杯となりますと場の空気も一変し楽しく有意義な時間を過ごす事が出来ました。

まだまだ残暑も厳しく相場の状況も良くありませんが江墨支部は松井支部長を中心に団結し支部員一同頑張っています。

荒川支部 納涼会を開催

荒川支部長 藤井 康夫

平成24年8月25日土曜日、和幸紙業(株)宮内啓悟さんのお力添えを得て、晴海屋さんの屋形船で、晴海埠頭から出発。東京湾お台場付近と墨田川をさかのぼって東京スカイツリーを水上から眺める夏季レクリエーション行いました。



当日は11社大人43名、中学生1名、小学生3名、幼児5名の計52名のご参加を頂きました。冷房のきいた船内では、お刺身や揚げ立てのてんぷらや幼児専用お子様弁当をいただき、船の外では心地よい風を受けて、東京の水辺の街に光る色とりどりの美しい灯りを見て、楽しいひとときを、過ごせたと思っております。次回もよろしくご協力賜りますようお願いいたします。

山手支部 研修会を開催

山手支部 厚生部長 中谷 浩康

去る9月1日(土)～2日(日)に1泊2日で箱根湯本「花紋」にて、山手支部研修会を開催しました。

今回も出席者は7名でした。新宿駅西口に13時20分に集合して、13時40分発「箱根29号ロマンスカー」に乗車しました。約1時間30分で箱根湯本に着き、旅館の送迎車で「花紋」に行きました。宴会の時間まで2時間余りありましたので、何種類もある温泉に浸かり、日頃の疲れを癒しました。午後6時に脇支部長の挨拶により開宴しました。コンパニオンも加わり、盛り上がりました。翌日は午前11時にチェックアウトして、小田原で昼食をとり、ロマンスカーで帰途に着きました。今回も組合員の親睦が深まった研修会でした。次回は景気も回復して、もっと多くの組合員に参加してもらいたいです。



組合員紹介

[城南支部]

井出紙業株式会社 イデ カズユキ 井出 一之



役職：専務取締役
 年齢：46歳
 血液型：B型
 体型：大柄
 似てる人：矢崎 滋
 業界歴：12年
 何代目：3代目
 他業界歴：11年
 業種：建設資材・電気設備関連(製造販売)
 趣味：ゴルフ・読書
 特技：何処でも寝れる
 取得資格：日商珠算1級・暗算1級
 運行管理者(貨物)
 取得免許：大型1種・フォークリフト
 好きなスポーツ：ゴルフ・スキー・サッカー観戦
 // 作家：大沢 在昌、堂場 瞬一
 // 学科：社会・雑学
 // 言葉：親しき仲にも礼儀あり
 // 食べ物：肉、ゴマ塩、柿ピー、しゃけ
 愛読書：難有って有り難い・島耕作シリーズ
 嫌いな食べ物：シソ、パクチー、臭豆腐
 飲酒：する
 タバコ：吸う(KENT 6 100'S)

好きな物： 国内外の名所旧跡や雄大な景観
 嫌いな物： おばけ、心靈写真、虫全般、ゴキブリ
 お勧めの店： なかよし（鉄板餃子）、ほおずき新宿
 お勧めの施設： 知覧特攻平和会館（鹿児島）
 お勧めの場所： 昭和記念公園（立川市、昭島市）
 いつか行きたい場所： 富士山の頂上
 自分の性格について： 温厚、几帳面、短気、
 主義主張が強い
 古紙業界に入って思う事
 気を付けている事： 出来ないと言う前に、
 出来るようにする事を考える
 大切にしている事： お客様の声、信用
 仕事上で組合員同士でネットワークを生かす事：
 同業者のネットワークは必要であると感じ、非常に興味ある。
 組合に対しての要望：「声なき声」にも耳を傾け、
 業界の行く方向を分かりやすく示して頂ければ。
 その他：組合運営に関わる役員の方々に感謝します。

組合員の広場

永年勤続従業員表彰式に参加して

城南支部 (株)共益・商会 駒井克久

日時：平成24年5月21日(月) 午後4時～

場所：上野 精養軒



皆さん、こんにちは。(株)共益・商会の駒井克久です。

去る5月21日に上野「精養軒」で、第50回永年勤続従業員表彰式が開催されました。

私は勤続年数20年以上という事で、永年勤続従業員表彰式に出席しました。今回赤染社長から「今年は第50回と言う節目の年の被表彰者を代表して、謝辞を述べる様に」と大役を任せられました。

5年、10年、15年と3回出席していて、謝辞の述べ方も分かっていたので自信がありました。

当日の永年勤続従業員表彰式は、三弘紙業(上田社長)の司会で進行されました。開催前に上田社長から「前回の謝辞発言者は、話している時体が震えていたよ。」と聞かされた途端、自信が不安に変わっていき、実際に発言している時に震えが止まりませんでした。中々この様な経験が出来ないので、良い勉強になりました。

私は20歳の時に入社し今年40歳を迎え、人生の半分(株)共益・商会に在籍しています。長かったような、短かった様な……。

(株)共益・商会が私を必要としている限り、30年、40年頑張っていきたいと思えます。

♪ことわざミニ知識♪

「傍目（おかめ）八目（はちもく）」

囲碁で、第三者が局外から見ると、打っている人より八目も先を見越すという意味。

局外から観察する者の方が、当事者より物事の真相や利害得失をはっきり見分けられるということ。

そんな事は分かっている出来ないのが人間であるろう。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 10月 5日(金) 水道橋 菜の家
 支部会 11月 7日(水) 水道橋 菜の家
 支部会 12月 5日(水) 水道橋 菜の家

中央支部

支部会 10月19日(金) もんじゃきくち
 支部会 12月14日(金) 入船

文京支部

支部会 10月 9日(火) 寿し常本店
 支部会 11月 8日(木) 寿し常本店
 忘年会 12月10日(月) 場所未定

台東支部

忘年会 11月末予定

荒川支部

支部会 11月12日(月) 四丁目町会会館
 忘年会 12月10日(月) 四丁目町会会館

足立支部

支部会 10月19日(金) 場所未定
 忘年会 12月 場所と日にちは未定

山手支部

支部会 10月19日(金) やなぎ
 支部会 11月19日(月) やなぎ
 忘年会 12月15日(土) やなぎ

城南支部

忘年会 12月17日(土) 場所未定

江墨支部

支部会 10月19日(金) 竹寿し
 支部会 11月20日(火) 竹寿し
 忘年会 12月20日(木) 場所未定

城北支部

支部会 10月12日(金) 場所未定
 支部会 11月 9日(金) 場所未定
 忘年会 12月14日(金) 場所未定

お知らせ

[10月会議・催事予定]

10月 3日(水) 共販輸出検討委員会
 (pm2:00～) 組合会議室
 // 常任理事会(pm2:30)
 理事会(pm4:00～)
 組合会議室
 10月11日(木) 清風会ゴルフコンペ
 10月12日(金) 古紙センター・紙リサイクル
 セミナー 星陵会館ホール
 (pm1:30～pm3:55)
 10月16日(火) 直納部委員会(pm3:30～)
 // 集直合同委員会
 (pm4:30) 組合会議室
 10月31日(水) 古紙センター業務委員会
 (pm2:15～)
 古紙センター会議室
 // 全原連役員会(pm3:30)
 古紙センター会議室

*10月25日(木)

静岡県紙業協会家庭紙部会

事前会議(pm3:45～)懇談会(pm4:30～)

懇親会(pm6:00)

東京開催の予定(精養軒)ですが、都合により変更の可能性も有

[古紙価格]

[東資協の古紙4品の標準売値]

平成24年8月8日現在

新聞 9円～10円(上値下降)

雑誌 6円～8円(下降)

段ボール 9円～10円(上値下降)

色上(並) 7円～9円(下降)

[組織変更]

代表者変更：荒川支部 (株) 富澤 新代表者
代表取締役社長 富澤進一様(平成24年6月1日付)
代表取締役会長 瀧本義継様

[本社移転]

城北支部：(株) 辻商店 (代表 辻 博)
北区赤羽 6-29-10 新住所 ↓
埼玉県戸田市中町 2-16-1 (旧戸田営業所)
平成24年9月10日より

[計 報]

荒川支部：

- ・(株) 長谷部 代表者 長谷部 幸男 様 (享年73) が平成24年6月25日(月)にご逝去されました。
- ・桜井商店 (代表者 櫻井英一様) のご母堂 櫻井はる様 (享年88) が平成24年9月4日(火)にご逝去されました。

足立支部：

- ・家田カッティングサービス 代表者 家田義和 様 (享年73) が平成24年9月7日(金)にご逝去されました。

会議概要 [6月・7月]**6月度定例理事会**

[平成23年6月3日(金)] pm4:00

出席理事 26名 (於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

寒くなったり暑くなったりと安定しない天気が続いている中、政治の方も内閣不信任案が否決されたり混迷が深まっているようであります。先日は、

第55回通常総会、第49回永年勤続従業員表彰を開催し、全役員の協力により無事終わる事が出来ました事について感謝いたします。今回は役員改選期であり、本日の役員会で業務部長他の役割について確認していきたいと思っております。今月末には、静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会、来月の始めには清風会の研修会、そして月末には製本工組との古紙関係協議会と行事が続いてまいります。この後には、節電の影響も関係してくる大変暑い夏がやって来ますが本日もご協力の程、宜しくお願い致します。

[各部報告]**[総務部]**

5月23日に総会が無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

[直納部]

6月度の共販輸出は、3社が入札に参加しました。入札価格結果は、松本光春商店(株)が国内価格を上回っての落札となりました。価格については震災前に戻ってきたようです。仕向け地の中国の市況は、ヨーロッパの経済状況が良好でタイのメーカーが日本古紙に買いが走ったことで、OCCの価格が上昇した。海外では日本が夏に向けて電力不足と生産調整と見込み、6月の価格は下降するだろうとの推測。他の仕向け地でフィリピン、韓国の市況は、この手の品質が若干、ダブつき気味で、購買意欲も芳しくない状況。国内では、裾物3品の発生が減少しておりタイトな状況である。関西のメーカーの生産はフル操業で、東日本のメーカーは順次、稼働してきている状況。関東からの古紙原料の行き先が今後、注目される。輸出に関しても放射能問題をかかえてはいるが、動き始めてきている。

[品目別市況]

[家庭紙] 5月末の時点での家庭紙メーカーの製

品在庫は、ある程度、確保しているようである。6月は節電の関係で家庭紙メーカーにより稼働にムラが出てきている。発生は悪いが、家庭紙メーカーへの古紙原料の供給が何処からかあるせいかタイト感が感じられない。

[段ボール・新聞・雑誌] 集荷状況は不安定で輸出も不安定である。

段ボール古紙は放射能の影響で動きが良くない。関東の板紙メーカーは入りが良く強含みである。段ボール原紙は前倒ししてフル生産をしており価格も上昇気味である。発生は良くない。

雑誌は3品の中では在庫が多かったが、ここへきてスムーズに流れている。

新聞は石巻の工場が生産をストップしていたが徐々に回復してきている。発生は激減しておりチラシも減っている。西日本との差を感じている。

[返本雑誌] 4月の発生は、昨年対比で過去何年かぶりで増加した。原発関連の記事の影響で週刊誌の売れ行きが良いようである。東北等の被災地では本を買うのに並ぶほどの売れ行きが良いようである。逆に西日本は販売に苦戦している。

[オフィス古紙] 発生は良くない。機密関係等、発生時期がずれて出てきている。

[集荷部]

発生が少ないのに家庭紙の古紙原料在庫があまり不足していない事について疑問を感じている。

[広報部]

広報誌は、5月総会号を6月の20日頃発送予定している。内容は、第55回通常総会と第49回永年勤続従業員表彰が中心で、青年部総会、各支部ごとの総会、組合員紹介を掲載する予定。

広報7月号では、新理事、新監事、業務部長、新支部長の紹介の記事の掲載を予定している。

役員変更に伴い、組合総合名簿の作成を7月の理

事会時からスタートしたいと考えている。前回制作時より早めに広告の依頼担当者の調整等の準備をしていきたい。今回から新たに名簿にメールアドレスを掲載する事を考えている。

[事業部]

清風会の講演者の準備を進めたい。候補として納土社会労務士の講演を考えている。

[青年部]

7月31日(日)に組合ゴルフコンペを予定しているので協力をしていきたい。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーのテキストを元にした更新試験を今年の11月と来年2月に予定している。今後、試験スケジュールを練っていきたい。

需給委員会：4年後の世界古紙会議に向けて準備を進めていきたい。

IT委員会：東芝のコンピュータの導入に関する件が委員会で話された。

[支部報告]

城南支部：5月28日(土)に支部総会を開催し理事長を招待した。

[その他]

- ・脱退者に対する審議：中央支部、(株)ビッグスター(代表者 川名敏男)事業縮小のため平成23年5月31日で脱退。

原案どおり承認可決。

- ・6月2日に都庁の主催による業種別団体情報連絡会に近藤理事長と松井副理事長が参加した。どの業界も仕事が減っており印刷関係の組合や製本関係の組合では組合員が半減している状態

であった。又、夏の節電対策についての報告があった。

- ・義援金について：各支部より義援金が合計で約973,444円集まった。組合より26,556円をプラスして合計100万円を平成23年5月10日に「日本赤十字社 東日本大震災義援金」として寄付した。
- ・上物古紙在庫報告のデータ公開について：5月の在庫報告から在庫のみのデータを関東商組の取り扱い会社7社と合算して、東京協組より古紙センターへ報告する事となった。

古紙センター業務委員会

[平成23年6月15日(水)] pm2:15～
於) 古紙センター会議室

- [1] 第1回通常理事会の報告
- ①平成22年度事業報告、決算報告の件
 - ②平成23年度事業計画・収支予算の件
 - ③定時評議員会の開催に関する件
 - ④諸規定の制改定に関する件
 - ⑤常勤役員の報酬に関する件
- [2] 業務委員会の委員構成について
- [3] 平成23年度段ボール・新聞・雑誌の消費計画について(最終ページ参照)
- [4] 古紙の需要・市況動向について
- *ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連第2回役員会

[平成23年6月15日(水)] pm3:45～
於) 古紙センター会議室
理事・監事64名：出席64名(内、委任出席38名) 欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(6月15日開催)

◎公益財団法人第1回通常理事会の報告について

- ①平成22年度事業報告の件
- ②平成22年度決算報告の件
- ③平成23年度事業計画・収支予算の件
- ④定時評議員会の開催の件
- ⑤諸規程の制改定の件
- ⑥常勤役員の報酬の件

◎平成23年7月～12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

段ボール：23年4月～6月実績・見直計画

1,858,668 t (前年比97.3%)

23年7月～9月見直計画

1,823,047 t (前年比98.3%)

23年10月～12月計画

1,875,956 t (前年比96.6%)

新聞：23年4月～6月実績・見直計画

876,630 t (前年比86.4%)

23年7月～9月見直計画

858,340 t (前年比87.3%)

23年10月～12月計画

892,334 t (前年比89.9%)

雑誌：23年4月～6月実績・見直計画

583,070 t (前年比97.8%)

23年7月～9月見直計画

551,091 t (前年比98.1%)

23年10月～12月計画

557,630 t (前年比97.2%)

(注) 23年7～12月見直し計画は被災した東北2工場(丸三、石巻)の計画が含まれていないため、4～6月の見直し計画、7～9月の当初計画も2工場の計画を差し引いて算出した。

◎業務委員会の委員構成について

- ・業務委員会 委員（委員長1名、副委員長5名、委員27名、計33名）
- ・古紙品質規格専門委員会 委員（委員長1名、副委員長1名、委員8名、計8名）

◎今後の日程

平成23年7月27日（水）13:30～14:30
第4回業務委員会（センター会議室）

平成23年9月29日（木）13:30～14:30
第5回業務理事会（センター会議室）

尚、8月は休会です

(2) 全原連 関係

◎審議事項（役員会上程、承認事項）

①「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定について…承認

- ・リサイクルアドバイザー：6月15日
（1社、1名） 累計（440社2,078名）

②古紙市場安定化検討委員会の設置について…承認

- ・経済産業省22年度予算で「古紙市場安定化に関する調査報告書」を作成。

再度、24年度予算に計上予定あり、全原連として古紙市場安定化検討委員会を立ち上げ23年度中に研究、調査、検討をするための委員会を設置する。

委員の構成は全原連（理事長）、関東商組（理事長、副理事長、需給委員会副委員長）とする。

③第34回通常総会の収支報告について…承認

- ・開催組合の中国地区製紙原料直納商工組合、小六理事長以下皆様方には大変お世話になり有難う御座います（栗原理事長より御礼談）
- ・収入：1,180,000円 支出：1,906,343円
予算：2,000,000円

④第35回通常総会の開催について…承認

- ・開催日：平成24年5月24日（木）
- 開催組合：四国製紙原料商工組合
（愛媛県松山市）

⑤東北製紙原料直納協同組合への見舞金贈呈について…承認

- ・見舞金：1,000,000円（大久保信隆副理事長より佐藤清隆理事長へ贈呈）

⑦適正仕入価格（適正コスト）標準指標調査資料提出について…承認

- ・適正仕入価格（適正コスト）統一フォーマット（関東商組需給委員会作成・三紙会参考資料提供）を各単組宛に送り、各単組ごとの標準指標と全国標準指標をまとめる。

(3) 委員会報告

●経営革新委員会（5月26日開催）

- ①「古紙リサイクルアドバイザー」及び「古紙品質管理責任者」認定試験の概要
- ②「日本古紙品質認定制度（J-BRAND）」トライアル事業進捗報告
- ③防災運動の推進について（関東商組実施）

●需給委員会（5月26日開催）

- ①各地区市況報告
- ②古紙国際会議開催
 - ・4年後を目途に古紙国際会議を誘致することについて準備委員会を具体的に立ち上げる。
 - ・国、メーカー、古紙再生促進センター等関係機関と協議する。
 - ・国際会議に出席して情報収集及び開催に向けてPRをする。

●IT推進委員会（5月26日開催）

- ・東芝情報機器より製紙原料システム販売促進体制について発表。

- ・IT環境の変化（大震災）による対策と今後の課題（地震、計画停電、ECO）。
- ・ホームページ（4月）大幅に見直しを実施、各委員にチェックを依頼。

●渉外広報委員会（5月26日開催）

- ・リーフレットの配布状況の調査（自治体関係調査状況等）
- ・23年度活動予定

（4）その他

- ・BIR参加報告（概要）
- ・東京都古紙持ち去り問題対策検討協議会の取り纏め

直納部委員会

[平成23年6月17日（金）] pm 3:30～
出席委員 19名 於）組合会議室

[市況全般について]

国内の古紙問屋の需給は震災前に戻った。板紙メーカーは忙しくタイト感。先行きは不透明である。

[家庭紙]

家庭紙メーカーの現状については、製品市況は流れが悪い。輸入品が増加傾向にある。製品価格が落ちてきている。製品在庫は震災前と同じくらいになってきた。

古紙原料の在庫については、古紙の入りがよくタイト感がない。原因として上物の輸出が止まっていた。3月、4月が発生時期であるオフィス系が家庭紙メーカーに廻っていたようである。上物の景気が良くなかった。

[各社の動向]

発生は5月が10%減で6月はさらに悪く約15%減。

在庫はランニングストック状況のところが多い。メーカーからの発注は、とりあえずこなしている。

「家庭紙部会に向けて」

- ①直納部としての現況を伝える。
- ②発生のお少なさと各問屋の在庫のお少なさを強調する。
- ③少ない発生の中で古紙の掘り出しの努力をしている姿勢を打ち出す。
- ④集荷の現状を伝える。

集直合同委員会

[平成23年6月17日（金）] pm 4:30～
出席委員 23名 於）組合会議室

[集荷部の現状]

製本関係は休みが続いている。

発生は直納部と同じく5月が10%減、6月はさらに減少している。

機密関係の回収量が増えている。

[家庭紙メーカーへの確認]

発生が悪いなか何故、古紙原料在庫を持っているのか。

7月～9月の輪番停電と岳排による生産への影響について。

古紙センター関東地区委員会

[平成23年6月23日（木）] pm 1:30～
於）古紙センター会議室

【需要動向】 11 / 5月 単位トン、
 () は対前年同月比、在庫の () は在庫率

【関東商組 32 社実績】

【新聞】	仕入	62,803(86.8%)
	出荷	63,394(86.0%)
	在庫	9,496(15.0%)
【雑誌】	仕入	56,111(96.4%)
	出荷	60,446(101.0%)
	在庫	10,064(16.6%)
【段ボール】	仕入	120,907(98.9%)
	出荷	119,895(94.7%)
	在庫	14,835(12.4%)

【関東・静岡実績】

【新聞】	入荷	191,000(82.6%)
	消費	177,831(76.1%)
	在庫	180,260(101.4%)
【雑誌】	入荷	112,037(91.9%)
	消費	115,828(94.0%)
	在庫	75,524(65.2%)
【段ボール】	入荷	295,350(104.3%)
	消費	278,326(96.8%)
	在庫	124,709(44.8%)

*コメントは省略致します

7 月度定例理事会

【平成24年7月3日(火)】 pm 3:30

出席理事25名・監事1名(於)東天紅4階「飛鳥」

近藤理事長挨拶

総会からまだ2ヶ月経っておりませんが、各支部長による支部会訪問や静岡県紙業協会家庭紙部会3団体懇談会、東北復興支援ツアー、そして製本工組、紙器組合を招いての組合ゴルフコンペ等、忙しく活動しております。特に今月は「故

皆川前理事長を偲ぶ会」が予定されており、その2日後に製本工組との古紙関係協議会も開催されます。市況も此処へきて家庭紙原料が調整気味となっております。本日は、先日、開催された家庭紙部会との3団体懇談会の報告、今後の会議の打ち合せを中心に引続きご協力をお願い致します。

【各部報告】

【総務部】

組合会館の2階のテナントを募集しているが入居者の応募がない。

【直納部】

7月度の共販輸出は2社が入札に参加しました。入札の結果は、国内価格よりかなり低い価格で(株)ジェーオーピーが落札となりました。仕向地は韓国、フィリピン、中国で組合助成金1円の対応有り。業者の市況報告は、市況の冷え込みは相変わらずです。コート紙の引き合いがかなり弱くなってきています。又、仕向地が中国のみの業者からの市況は、中国メーカーの製品在庫は相変わらず多く、7月も価格は大きく動かず膠着状態です。

海外メーカー工場視察研修会は、当初、訪問予定でありましたA P P寧波が都合が悪くなり視察出来なくなりました。代わりに上海から車で約3時間のところにある段原紙メーカーで段ボール古紙を扱っている「栄勝紙業」に変更しました。後日、案内を送付致します。尚、メーカー視察は(株)ジェーオーピーがアテンド致します。

市況全般では、国内の洋紙、板紙メーカーは注水量をカットしており横ばい状況。裾物3品は注水量カットで弱含みである。段ボールは、国内は弱含みの状態。輸出は2ヶ月間下げが続いていたが、ここへきて下げ止まりが感じられる。

先月に行われた静岡県紙業協会家庭紙部会3団体

懇談会では、各家庭紙メーカーの古紙は潤沢に有り、製品在庫をかかえている。家庭紙メーカーは電気料金の値上げ、燃料費の値上げの影響を大きく受けている。

[品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙メーカーは産業古紙の上物だけではなくオフィス古紙も使っている。その割合は不明である。

7月中旬ごろに家庭紙原料の価格調整の通告があると聞いている。

[段ボール] 国内は弱含み。

[返本] 5月は発生が多かった。国内の販売は変わらず、輸出は弱含み。

[オフィス古紙] 大きな変化はない。

[集荷部]

現在、非常に厳しい状態で、これ以上の価格調整はしないで欲しいと願う。集荷の発生元へ、これまでの経緯を説明文にしたものを広報部に作成してもらい配付したい。

[広報部]

広報部は総会号（6月号）を先月末に送付した。次回の9月号は、「時の話題」で9月頃の市況「現状と今後の見通し」について直納部に記事を書いてもらう予定。他に外部団体との懇談会（静岡県紙業協会家庭紙部会、製本工組）と支部の納涼会、東北復興支援ツアー、永年勤続従業員表彰者の手記等について掲載予定。

[事業部]

先月に都市近代化事業協同組合の総会に参加した。その中で、自動車共済保険の加入数で組合が表彰された報告があった。

決算では利益を大幅に計上していた。

[青年部]

7月19日に青年部の納涼会を開催する。幹事会を7月か8月に開催する予定。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：本日、札幌で経営革新委員会が開催されるので上田委員が参加している。

古紙リサイクルアドバイザーの再試験を7月11日（水）に実施する。前回受験できなかった15名と不合格者7名の合計22名が受験対象となる。場所は組合会議室で午後6時からの開始。

[その他]

・「故 皆川前理事長を偲ぶ会」の参加者、会場の席割り、式次第等について最終確認をした。

古紙センター関東地区委員会

[平成24年7月19日（木）] pm 4:00～
於）古紙センター会議室

[需要動向] 12 / 6月 単位トン、
() は対前年同月比、在庫の () は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	65,350(97.9%)
	出荷	67,524(103.1%)
	在庫	10,056(14.9%)
[雑誌]	仕入	51,981(96.5%)
	出荷	54,683(97.8%)
	在庫	8,854(16.2%)
[段ボール]	仕入	128,661(101.2%)
	出荷	134,385(103.8%)
	在庫	15,279(11.4%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕	入荷	196,386(108.0%)
	消費	198,075(106.4%)
	在庫	183,192(92.5%)
〔雑誌〕	入荷	111,582(96.7%)
	消費	113,467(92.4%)
	在庫	60,375(53.2%)
〔段ボール〕	入荷	291,800(99.6%)
	消費	301,080(92.9%)
	在庫	134,874(44.8%)

〔業者側コメント〕**〔新聞・雑誌・段ボール〕**

6月の新聞の発生量は昨年と比べ少し減少している。本文のページ数は若干、減少だが、チラシは少し増えている。7月の発生は段ボール、新聞は6月と変化がないが雑誌が少し減少している。

中国への輸出は、アメリカ、欧州が増加している。輸出価格が下がるのはしょうがないのではないかと。輸出価格に関しては、短期間で動いている。

〔上物古紙〕

家庭紙原料は7月16日に価格調整があった。依然として製品在庫は増えたままである。上物古紙は全般に発生が少ない。44社の在庫統計では前月比では減少しているが、前年対比では増加している。

〔メーカー側コメント〕

新聞は各社とも適正在庫を維持している。3月以降、月を追って在庫が増えてきている。減産ベースが徐々に強くなってきている。入荷に関しては問題ない。

雑誌は原料在庫は高めで持っている。白板向け販売生産状況は強くない。

段ボールの生産は6月は前年を上回っていたが7月は下回りそうである。生産は前年の1月～6月

と比べ、若干の増加だが原料に対しては閉塞感がある。

古紙センター業務委員会

〔平成24年7月25日(水)〕 pm1:30～
於)古紙センター会議室

- 〔1〕平成24年度事業の実施状況について
- ①古紙回収推進事業
 - ②紙リサイクルセミナー
- 〔2〕集団回収実施団体への感謝状交付について
(近畿地区委員会推薦)
- 〔3〕新潟県におけるセンター活動の活性化について
- 〔4〕古紙の需要・市況動向について
- *ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連平成24年度第3回理事会報告**全原連第4回役員会**

〔平成24年7月25日(水)〕 pm2:45～
於)古紙センター会議室

理事・監事64名：出席64名
(内、委任出席35名) 欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係**●業務委員会 (7月25日開催)****◎平成24年度事業の実施状況について****①古紙回収推進事業：**

予算総額 135,178,000円

・予算：本 部 55,268,000円、
北海道地区 5,100,000円、
東北地区 30,000,000円、
関東地区 4,800,000円、

静岡地区 7,500,000 円、
 中部地区 8,960,000 円
 近畿地区 6,750,000 円、
 中・四国地区 8,500,000 円、
 九州地区 8,300,000 円

②紙リサイクルセミナー

・開催日時：平成24年10月12日（金）
 13:30～15:55

開催場所：星陵会館ホール（400人収容可能）
 千代田区永田町2-16-2

主催：公益財団法人 古紙再生促進センター

後援：経済産業省

参加費：無料

◎集団回収実施団体への感謝状交付について

・推薦地区委員会：近畿地区委員会（5団体）

◎新潟県におけるセンター活動の活性化について

・新潟地区懇話会（仮称）の設立について

対象となる企業：全原連新潟ブロック加盟会社他、新潟県内から古紙を調達している製紙会社

目的：新潟地区向けの古紙統計の提供と情報交換

開催地：新潟県内で開催する

開催回数：年間2回程度とする

役員等：会長及び副会長若干名を選出し事務局を設置する

◎主要古紙価格について

・全国的に8月1日以降の価格：

段ボール2円、新聞1円、雑誌2円の値下げの通知がありましたので報告致します。

◎今後の日程について

平成24年9月21日（金）14:15～15:15

第5回業務委員会（センター会議室）

平成24年10月31日（水）14:15～15:15

第6回業務委員会（センター会議室）

平成24年11月28日（水）13:30～14:30

第7回業務委員会（センター会議室）

◎平成24年8月13日（月）～16日（木）

(2) 全原連 関係

◎審議事項

①古紙持ち去り行為撲滅策の具体化について

●古紙持ち去り行為撲滅対策案の内、(5)アウトサイダーが関わっている場合の対策についての案

*アウトサイダーが持ち去り行為を行っていることが公表された場合について

・当該地域組合が各組合員に対して当該アウトサイダーから買入れないように指導を含めて周知徹底する。

・当該組合の構成メンバーではないことを関係団体等に対して公表する。

*アウトサイダーから持ち去り古紙を買入れた場合、あるいは持ち去り古紙が持ち込まれた場合について

・事実関係が明らかな場合については当該地域組合が対応策を講じること

・事実関係が明確になっていない場合については当該地域組合が実態の把握に努めること。

*当該アウトサイダーが持ち去り古紙を商社に直接持ち込む場合について

・当該商社も含め各地域で営業活動を行っている商社に取り扱わないよう申し入れること。

*上記のいずれの対策にもかかわらずアウトサイダーによる持ち去り行為が続く場合について

- ・経済産業省等関係省庁と対応について協議すること

②「古紙商品化適格事業所」「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定について

- ・古紙商品化適格事業所：7月15日
5社6事業所（累計409社800事業所）
- ・古紙リサイクルアドバイザー：7月15日
38社80名（累計462社2,388名）

③BIRバルセロナ会議派遣計画案について

- ・日程：平成24年10月28日（日）～30日（火）2泊3日
会場：プリンセサ・ソフィアホテル（スペイン）
派遣人数：3名以内（各単組からの推薦）
予算：3名概算 全原連負担金（会議費54万円、諸雑費10万円）
- ・参加者負担金（航空運賃、宿泊代）

（3）各委員会報告

●経営革新委員会（7月3～4日札幌開催）

①優良性評価事業関係

- ・「古紙リサイクルアドバイザー認定」試験実施状況確認の件
- ・「日本古紙品質認定制度（J-BRAND）」事業進捗状況報告の件
平成24年11月1日より実施（関東地区委員会において承認）
- ・「古紙品質管理責任者」講習事業進捗の件

②古紙持ち去り問題対策経過報告の件

●渉外広報委員会

- ・各委員のメールアドレスの確認及び情報交換
- ・古紙持ち去りの全国事例集（現状と対策等）を平成25年2月頃にレポートやリーフレットにする。

（4）その他報告事項

- * BIR ローマ会議報告（5月29日～6月1日開催）について
- ・配布資料参照
- * 古紙持ち去り意見交換会について
- ・日時：7月18日（水）13:00～15:00 場所：関東商組会議室
古紙持ち去り根絶宣言ステッカーを車両に貼る等
- * 全国牛乳容器環境協議会報告概要について
- ・紙パック回収に関わる回収事業者と原料問屋の現状と今後の意向、さらに市場メカニズムに基づく今後の紙パック回収の課題を把握することを目的に調査した。
- ・アンケート調査対象と回答率（全原連 有効回答数226、回答率32%）

編集後記

広報部副部長 伊藤 滋

ロンドンオリンピックが閉幕しました。素晴らしいプレーに魅了され、眠い目をこすりながら、テレビにくぎ付けとなられた方も多かったのではないのでしょうか。日本は、金メダル7つを含む、合わせて38個のメダルを獲得し、メダルの総獲得数は2004年のアテネ大会を上回って史上最多となりました。男子柔道は残念でしたが、48年ぶりに金メダルに輝いたボクシング、オリンピック3連覇を2人も成し遂げた女子レスリングの感動は記憶に新しいことと思われま。そして今大会は団体競技のメダル獲得が特に印象的でした。震災後に叫ばれている「絆」の文字が頭に浮かびます。

時計を5年前に戻します。2007年、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した米国住宅バブル崩壊の影響が、しだいに不安視されていきました。「オリンピックが終わるまでは大丈夫」との声が方々で囁かれていました。言い換えれば「オリンピックが終わったら大変だ」ということになります。案の定、翌年2008年の北京オリンピック（8/8～8/24）終了後の9月15日、リーマン・ブラザーズは連邦破産法 第11章の適用を連邦裁判所に申請。世に言う「リーマンショック」です。その後、世界的な金融危機に発展し、その影響は今日においても収まりを見ることができません。最も経済的ダメージを被ったのは日本とも言われています。

「不況」「不景気」「デフレ」「失業率の高止まり」「就職難」数年にわたって同じ文字が誌面を飾っています。更に、昨年、東日本大震災から露呈した数々の問題、2年半も経過しているにも関わらず修復を見せない欧州債務危機、領土問題を発端とする外交問題、大企業のリストラに伴う人員整理、これらの渦中における政局の混迷。少しずつでも良い方向に、人々の笑顔が増えるようにと願う毎日です。

広報誌掲載の広告募集について

*組合では、広く業界関係各社から広報誌の広告掲載を募集しております。

広告スペース、場所、料金等の詳細につきまして組合事務局までお問い合わせください。

東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

広報誌 表紙写真募集の件

広報部

皆様には日頃より組合活動にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて広報誌の表紙は、従来、特定の組合員様のご協力で写真を提供して頂いて参りました。

しかしながら諸般の事情により、今後その写真の利用ができなくなりました。

そこでこの機会に、組合員の皆様から表紙を飾る写真を公募したいと思います。

下記の要領で、奮って写真をご応募ください。お待ちしております。

募集要項

募集写真：白黒またはカラー写真

焼き付け または 添付ファイル

題材：風景、季節、催事を扱ったもの

提出時期：随時

提出先：

〒110-0016 東京都台東区台東3-16-1

東京都製紙原料協同組合 事務局

TEL 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

E-mail: info@kosi-tokyo.or.jp

ご質問等は、事務局までお気軽にご連絡ください。

